

道徳科学習指導案（低学年用）

1. 主題名 友達とたすけあって 「B 友情、信頼」

2. ねらいと教材

(1) ねらい 友達と仲よく助け合おうとする心情を育てる。

(2) 教材 まつりのひ （紙芝居…（公社）「小さな親切」運動本部）

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

児童にとって、友達関係は、最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否か方向づけられることも少なくない。

低学年では、友達と仲良くするが、相手のことを考えられないこともある。友達と一緒に楽しいという場面などを経験させることにより、助け合ったり、友達を思う気持ちを育てていきたい。

(2) 児童の実態（略）

算数科では、友達の分からないところを助けたり、教え合ったりする中で友情を育てている。

生活科では、自分が発見したことを友達に伝えたり、友達の発見を喜んだりする中で、仲良くお互いを認め合うように指導している。

日常では、友達と仲よく遊んだり、仕事を手伝ったりすることから友達を大事にしている気持ちを感じ取らせている。

以上のような指導をする中で、だんだんと友達のことを思うようになってきている。

本教材は、津波の被害を受けた村で、復興のためにみんなが頑張っている姿を描いたものである。

主人公コタローの気持ちや行動を通して、転校生や、復活させるために村祭りをする人たちの気持ちや、津波のトラウマがあるポンタとの関わりから、友達を思いやる心を育てるのによい教材である。

コタローの友達への気持ちを自分との関わりで考えさせることで、友達と仲良くするだけでなく、友達と助け合おうとする心情まで育てていきたい。

6. 学習指導課程

	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価（☆）
導 入	<p>1. どんな友達がいるか発表する。</p> <p>○みんなは、どんな友達がいるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい友達。 ・一緒に遊んでくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の友達を想起させる。
展 開	<p>2. 資料「まつりのひ」を視聴して、話し合う。</p> <p>① 紙芝居をみて、一番心に残ったところはどこか。</p> <p>ア、コタローがキュウスケを案内しているところ。</p> <p>イ、海を見ながら二人が話しているところ。</p> <p>ウ、村のみんなが、祭りの練習をしているところ。</p> <p>エ、ポンタが、キュウスケに化け方を教えているところ。</p> <p>オ、物まねイリュージョンが成功して、3人が喜んでいるところ。</p> <p>② どうしてそこが心に残ったのかを話し合う。</p> <p>ア、早く仲良くなりしたい、自分の村を知ってほしいという気持ち。</p> <p>イ、津波で怖かったけど、頑張っているコタローがいい。</p> <p>ウ、だいすきな村を元気づけるため、そしてお祭りを成功させようとしているから。</p> <p>エ、友達のために、一生懸命化け方を教えてあげているから。</p> <p>オ、三人で助け合って、出し物を成功させたから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居で資料を提示する。 ・自分が心に残ったところをしっかりといえるように物語を少し振り返る。 ・なぜそこに心が響いたかを自分でいうとともに、友達との比較をする。
	<p>3. 今までの生活を振り返り、友達に優しくしてよかった経験を話し合う。</p> <p>○ 友達に優しくしてよかったと思ったのはどんなときか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思うと、気持ちよくなる。 ・今までよりも仲良くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを振り返らせる。してもらうだけではなく、優しくする大切さも気付かせたい。
終 末	<p>4. 教師の話聞く。</p> <p>○ 友達について楽しいことを話す。</p>	